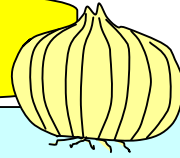
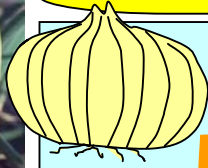


白色疫病

これから季節、春先に暖かく、
降雨が続く場合はご注意ください！



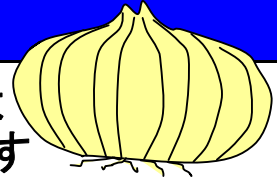
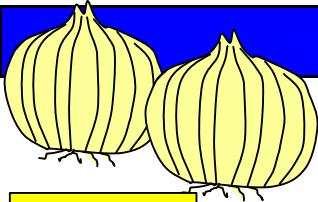
たまねぎの 白色疫病・べと病が 発生しています！



べと病

発生予報

気温が高く、降雨が続く場合は
短期間でまん延するおそれがあります



対策

発病前の予防散布がポイントです！

耕種的防除

発病残渣は速やかに取り除いて処分しましょう

化学的防除

○発病前にジマンダイセン水和剤などで予防散布を心がけましょう
※発病すると急速にまん延します(ToT)

○発病を確認した圃場では、
フロポーズ顆粒水和剤など治療効果の高い農薬で防除しましょう



フロポーズ顆粒水和剤

主な白色疫病・べと病剤

平成23年2月2日現在

薬剤の系統名	薬剤名	予防効果	治療効果	希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	本剤の 使用回数	有効成分の 総使用回数
有機塩素+アミノ酸 アミカーバメート	フロポーズ顆粒水和剤	○	◎	1000倍	7日前	3回以内	ベンチアバリカルブイ ソプロピル:3回、 TPN:6回以内
フェニルアミド+有機 硫黄	リドミルMZ水和剤	○	○	500~750倍	7日前	3回以内	マンゼブ:5回、メタ キシル:4回以内※
シアノアセトアミド+オキ サゾリジンジオン	ホライズンドライフロブル	○	○	2500倍	3日前	3回以内	シモキサニル:3回、 ファモキサトニ:3回 以内
有機硫黄	ジマンダイセン水和剤	○	×	400~500倍	3日前	5回以内	5回以内
有機塩素	ダコニール1000 ※べと病のみの登録です	○	×	1000倍	7日前	6回以内	6回以内

※メタキシル:4回以内(種子粉衣は1回以内、播種後は3回以内)

- 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連用はさけましょう
- 農薬の散布にあたっては、他の作物への飛散防止に努めましょう
- 農薬の使用にあたっては、ラベルの表示事項を守りましょう